

● 第一号議案

2019年度 創邦21 事業報告

1 会議の開催

(イ) 総会の開催

2019年8月16日 午後6時30分より 定時総会開催 於CATオフィス

(ロ) 例会の開催

2019年 4月 16日 14時より	第183回例会	於CATオフィス
〃 5月 20日 18時より	第184回例会	於紫山会館
〃 7月 1日 14時より	第185回例会	於CATオフィス
〃 8月 16日 19時30分より	第186回例会	於CATオフィス
〃 9月 16日 18時より	第187回例会	於CATオフィス
〃 10月 4日 13時より	第188回例会	於CATオフィス
〃 12月 29日 11時より	第189回例会	於グランドアーク半蔵門
2000年 2月 19日 11時より	第190回例会	於CATオフィス

2 作品演奏会の開催

第16回作品演奏会

主催：創邦21

日時：2019年5月22日（水）

18時開場 18時30分開演

場所：紀尾井小ホール(東京都千代田区)

制作協力：(株)シーエイティプロデュース

助成：芸術文化振興基金

公益財団法人 日本製鉄文化財団

曲目：『夏の終わり』（金子泰作詞／今藤長龍郎作曲）

※再演（2018年8月、全国邦楽合奏フェスティバル「夏の終わりコンサート」委嘱作品）

『半身』（金子泰作詞／福原徹・松永忠一郎作曲）

『昔おとこ・おんな』（今藤政貴構成・作曲）

『etude iii』（清元栄吉作曲）

風によせる三題

『「駒井義之作 風」へのオマージュ』（駒井義之作／今藤政太郎作曲／奥田祐編曲／金子泰構成）

『いぶき』（今藤美治郎作曲）

『あくがれ』（若山牧水作歌／米川敏子作曲）※再演

3 公開講座の開催

第 11 回公開講座「創作のキモ」

主催：創邦 21

日時：2019 年 9 月 25 日（水） 18 時開場 18 時 30 分開始

場所：アコスタディオ

入場料：一般 2000 円、学生または創作を志す方 1000 円、
創作を志す学生 500 円

内容：「長唄における〈はまり〉と〈ふしづけ〉の基礎」

講師：今藤政貴

実演：今藤政貴、今藤長龍郎

4 創邦 21 ホームページの運営

作品の音源公開、「ムービー作品」の制作と公開

新型コロナ感染拡大による公演自粛、舞台芸術活動の停止を受けて、「リレートーク」連載開始

アーカイブとして「公演記録」を更新

同人の執筆したエッセイ、レポート等の掲載

同人による同人インタビュー「創邦 Q 面」の連載

「きまぐれな今日の一曲」の随時更新

ブログの更新

5 第 17 回作品演奏会準備

2020 年 10 月 23 日開催の第 17 回作品演奏会に向けての諸準備

6 新型コロナ感染の影響による活動の中止・延期

2000 年 3 月 13 日に予定していた第 12 回公開講座「創作のキモ」の開催を見合わせ、延期。新日程未定。

【総括】

1 2019年8月16日に定時総会、また同年4月16日の第183回から翌2020年2月19日の第190回まで計8回の例会を行った。

2 平成30年度(2018年度)は作品演奏会の開催を見送ったため、第17回作品演奏会は約一年半ぶりの開催となった。

全般に一曲がどれもそれほど長くなく、編成も「風へのオマージュ」を除き小規模であった。お客様には聞きやすかったと思われるが、その半面、会全体のダイナミクスは弱くなってしまったかもしれない。

それぞれの曲には、各作曲者の志向する音楽・邦楽が鮮明に出ており、作曲の具体的な手法、音の捉え方・作り方などの方法の熟練ばかりでなく、邦楽の現在を視野に入れた上での自身の音楽への探求の深まりも感じられたことは、創作の団体を結成して20年余、活動の成果として歓迎するものである。これからも創作活動を地道に継続していきたい。

また助演者に、女流も含めて多彩な演奏家を迎えた。今後とも、優れた技量の演奏家を紹介する場ともしていきたい。

次回以降、出品各曲のクオリティを上げ、公演のテーマなどを設定して公演としてのクオリティも上げていくよう努めたい。

3 公開講座「創作のキモ」の第11回を行った。これまでとは趣の違った講義形式で、参加の方々はメモをとって熱心に聞かれており、実際それに値する内容のものだったと言ってよいと思う。今回は邦楽を「聴く人」よりもむしろ「演奏する人」を対象としたような内容だったが、演奏の細かなテクニックではなく原理原則や考え方・捉え方を大局的に示し、「聴く人」にとっても興味深い話となった。

4 創邦21ホームページを継続的に運営し、アーカイブとして、また「エッセイ」、「レポート」、ブログなど読む物の充実も目指した。「気まぐれな今日の一曲」、同人による同人インタビュー「創邦Q面」は緩やかに更新された。総じて5月に行った第17回作品演奏会の告知・予告・記録保存を中心に運営された。中で、画像付きの「ムービー作品」を松永忠一郎が制作し、その形式で音源を公開する動きが始まったことは特記したい。

ところが年度末に至って新型コロナウイルスの感染拡大危機による活動の自粛が始まり、インターネットを積極的に利用することが必要な状況となったのを受け、創邦21でもホームページの活用が喫緊の課題となった。前述の「ムービー作品」制作を進めるとともに、在宅中の同人を繋ぐブログ企画「同人リレートーク」を開始した。

今後はさらに重要度を増すインターネットでの発信・配信を、コロナ後も視野に入れて積極的に行っていきたい。

5 第17回作品演奏会の開催に向けて準備を始めた。

6 2020年2月末より、新型コロナウイルスの感染拡大予防として、人の集まること、イベント、公演などの自粛が要請された。創邦21では、3月13日に第12回創作のキモを開催する予定だったが、お客様や我々自身の安全を確保できるという確信が持てないことから、延期することとした。

その「創作のキモ」では、三世今藤長十郎・松原奏風作曲「しづかな流」（中勘助作）を取り上げ、作曲当時を知る今藤政太郎と米川敏子が、今藤美治郎の司会進行で、貴重な証言とエピソードを交え、この作品のどこがどのように優れているのか、またこの作品の背景、および同時代的にあるいは次代に与えた影響などを解説しようとするものであった。いずれ開催可能となった折には、必ず実現させたい企画である。

新型コロナウイルスの収束を願うことはもちろんであるが、感染未収束状況においても可能な芸術の発信の形を模索し、沈み込んだ文化芸術を再活性化させる一助として、伝統芸能・邦楽の創作という分野から活動を展開させていきたい。

以上